

論文式試験選択科目

●対象者 論文式試験(選択科目)
著作権法の受験者

著作権法対策コース

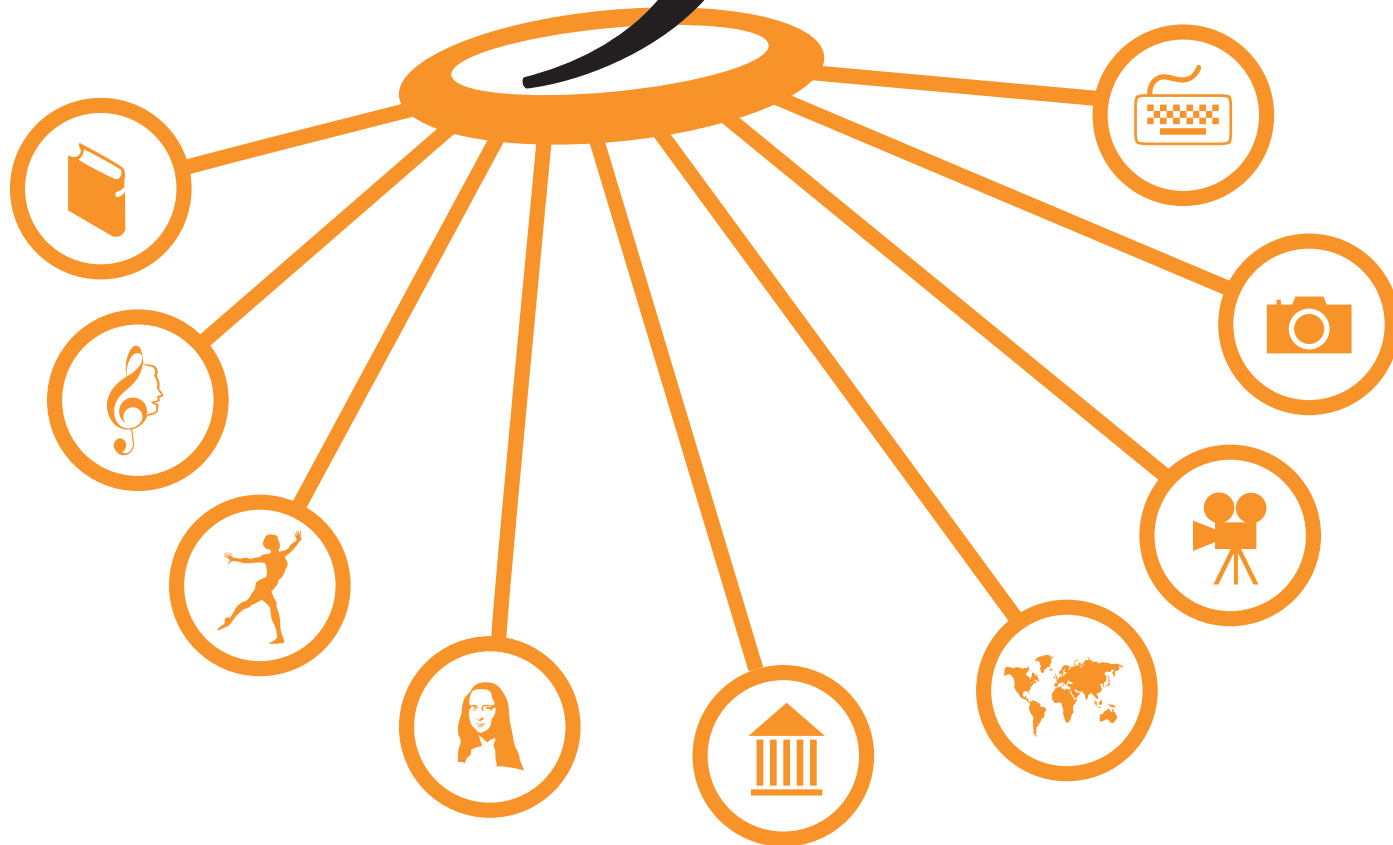
NEW!
2011年1月
新規開講

弁理士講座受講生割引あり

学習経験者(転校)割引あり

1+9

パターンで
本試験を攻略!



「最終合格」のための「新しい」選択科目対策コースが 新規開講!

無料講座説明会
出席者特典!!

¥10,000
入会金免除券プレゼント

詳細は裏表紙をご覧ください。

2011年合格目標

1+9

著作権法対策コースの コンセプト



なぜ著作権法が良いのか？

著 著作権法は、短答式試験と範囲が重複しているため、そこでの知識を生かせる科目です。例えば、膨大な条文数を誇る民法よりも遙かに手が付けやすい科目といえます。適切な学習計画を立てることが出来れば、学習の負担が少ない、お勧めの科目といえます。

学習の負担は少なく

論 論文式試験選択科目の著作権法を受験される方には、短答式試験から受験されている方、短答式試験免除の方、そして短答式試験及び論文式試験必須科目が免除の方と色々な方がいらっしゃいます。共通していえることは、「限られた時間で効率的な学習をすること」です。つまり、論文式試験（選択科目）対策には、可能な限り「短時間」で終わらせるということが、合格には必要となります。

理系出身者にも
オススメ

理系出身者であっても、必ず理系科目で受験しなければいけないということではありません。理系の勉強から離れている方などには、短答式本試験対策で勉強している著作権法で受験することは、有効な戦略といえます。

「1+9パターン」で本試験を攻略

T AC/Wセミナーでは、論文式試験選択科目の著作権法の本試験問題を徹底的に分析しました。そして、「答案構成力」と「条文操作能力」が合格答案作成のポイントとして、「大きな1つのパターン」と「小さな9つのパターン」という2つの要素に分解して組み合わせることで、効率的に学習できるカリキュラムを開発しました。



大きな1つのパターン

「著作権が発生し、それを利用するまで」をパターン化していきます。これは「答案構成力」、すなわち「適切な流れで論点を記載する力」を学習することになります。なぜなら、著作権法の答案構成は、どのような問題であっても「著作物性」→「権利の帰属」→「著作権（財産権）とその制限」→「著作者人格権とその制限」というある一定の流れで答案構成ができる力が必要だからです。これらは、合格答案作成の土台となるものです。

小さな9つのパターン

著作権法10条1項1号～9号に例示される9種類の著作物を指します。大きな1つのパターンを土台として、この9種類の著作権ごとの特徴をパターン化し、「条文操作能力」、すなわち「適切な条文をすぐに見つける力」を身に付けることになります。著作権法の特徴は、条文ごとの文章が長く、また、その条文の内容が複雑に絡み合っていることです。したがって、本試験では出題されたある論点に関する条文を全て見つけることが出来るのか、すなわち「条文操作能力」が合否の鍵を握ります。逆に言えば、「条文操作能力」をしっかり身に付けることができれば、合格が一気に近づく科目であるともいえます。また、必須科目のように暗記を要する判例や学説も少なく、学習方法さえ誤らなければ、短期間で合格も十分に実現可能です。

少ない労力で大きな効果を

カ リキュラムは「1+9パターン」をできるだけ短期間で修得し、本試験問題に当てはめて考えられるようになるように構成しています。パターン化して考えることで、効率的に学習していただけます。

●● 効率的な学習のためのオリジナル教材

短期合格のために必要な要素を詰め込んだ教材です。本試験当日まで、ご活用いただける注目のアイテムです。

最短講義テキスト

「1+9パターン」を理解するためのテキストです。制度ごとに、関連条文や制度が網羅的に解説されています。テキストの各項目は、論文答案を作成するときの流れに対応しているため、INPUTで学習した内容が、そのままOUTPUTに反映させることができる構造になっています。

暗記カード

著作権法を合格する上で、必要な論点を厳選して掲載しています。



●全体構造

各パターンの冒頭には、全体構造として、「何を学習するのか」「学習内容の中のポイントは何か」がわかるようになっています。

●条文

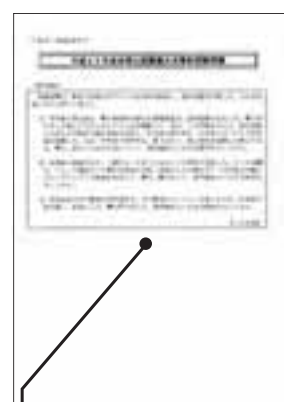
重要な条文については、本文中に取り上げ、講義でしっかり確認していきます。

●本文

本試験（論文式試験選択科目）に必要なとされるポイントを、簡潔に記載しています。

●MEMO

本試験とは直接的には関係しないが、知っておいた方がよい知識をまとめています。



●本試験問題

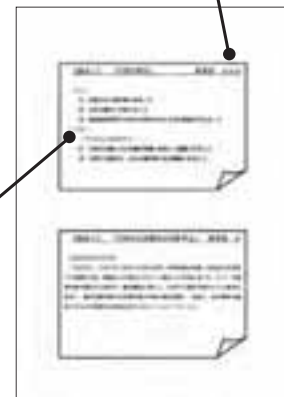
テキストの中に、過去の本試験問題が記載されています。試験合格の秘訣は「過去問」にあり。入手しづらい著作権法の過去問題集を「模範解答」付きで掲載しているため、本試験の出題傾向や、合格答案がどのようなものかを知ることができます。

●まとめ

本文中の重要事項を集めた、ポイント集です。各パターンを理解しても、記憶していなければ合格答案を作成するツールとして使えません。各パターンを簡潔にまとめたため、チェックリスト代わりに利用できます。

●重要度

重要度に応じて、メリハリある学習を行っていただけます。



●本文

<条文><判例>などで、ココだけはおさえおいて欲しいという内容です。短い時間で復習できるように工夫しています。

●● 短期合格へのナビゲーター



弁理士講座専任講師
湯浅 竜

論文式試験の選択科目は、いかに「短期間」に合格する力を身につけるかが重要です。

なぜなら、選択科目に時間をかけ過ぎると短答式試験や論文式試験必須科目の勉強が疎かになってしまうからです。あくまでも「最終」合格を見据える皆様にとって、選択科目に時間をかけすぎる学習計画は得策ではありません。

だからこそ、皆様には、「短期間での合格」を目指していただきたいのです。

では、どうすれば「短期間」で合格できるのでしょうか？

過去問を分析すると、著作権法の論文答案は「1つの大パターン」と「9つの小パターン」の組み合わせで成り立つことがわかります。

本講座では、「短期間」で、この「1+9パターン」を修得し、論文式試験の選択科目合格を目指していただくことができる講義を行います。

選択科目に割く時間を可能な限り減らし、短答式試験、論文式試験必須科目が疎かにならない新しいタイプの選択科目対策講座で、「最終」合格を目指しましょう！

●● 1+9パターンで合格を目指す戦略的カリキュラム

著作権対策コース トータルパック(全20回)

本試験攻略のポイントとなる1+9パターン(「大きな1パターン」と「小さな9パターン」)の修得を目的としたカリキュラムです。インプットとアウトプットの絶妙なバランスで、「効率的な学習」にこだわっています。短答式試験および論文式試験(必須科目)にできるだけ負担とならないよう、講義日程にも工夫しています。

※学習状況に応じて、トータルパックを前半・後半に分割したバックや単科でのお申込みも可能です。



●● 選べる受講形態&フォロー制度

通学講座も通信講座も使用する教材は全て同一。ライフスタイルに合わせて受講形態を選択できます！

通学講座

📺 教室講座

迫力のある講義を受講できる！
日程表に合わせて、教室で受講していただくスタイルです。迫力あふれる講義をライブで体感し、受講生同士切磋琢磨しながら合格を目指します。



📺 ビデオ（DVD）講座

自分のスケジュールに合わせた学習が可能！
忙しくて決められた日程では通えないが、通信だと学習のリズムが掴めないという方におすすめの講座です。自分のスケジュールに合わせた学習計画を立てられます。



受講システム

①視聴日時の予約
日程は、視聴開始日以降であれば、自由に選んでいただけます。受講の際は、予めご予約ください。

②TAC DVDルームで受講
予約した日時に、TAC DVDルームで受講してください。その際、レジュメなどをお渡しします。

③DVDを返却
受付の所定の場所にご返却ください。

【DVDブース利用時間】

①9:30～12:30／②12:30～15:30／③15:30～18:30／④18:30～21:30

※日曜日は④の時間帯はありません。

通信講座

📺 DVD通信講座

教室講座を自宅で再現！
教室講座の講義を収録したDVDを見て学習するスタイルです。忙しい方、遠隔地に住んでいてTACに通えない方におすすめの講座です。



※DVD-Rメディア対応のDVDプレーヤーでのみ受講が可能です。パソコン・ゲーム機等での動作保証はいたしません。

📺 Web通信講座 音声ダウンロード付

いつでもどこでも何度でも学習可能！
インターネットを利用してパソコンで学習するスタイルです。教室収録の講義映像をストリーミング配信しています。24時間いつでも臨場感あふれる講義を受講できます。



重要

視聴環境をご確認ください
お申込前に必ず、WセミナーホームページのWeb通信講座VODログインページ（<http://www.w-seminar.co.jp/vod/>）にアップされている「動作環境の確認」で視聴可能かを、ご利用になるパソコンでご確認ください。

フォロー制度

📺 教室講座

📺 ビデオ（DVD）講座

📺 DVD通信講座

📺 Web通信講座

📺 Webフォロー 無料 (音声ダウンロード付)

対象講座 📺 📺

一定の視聴環境さえあれば、教室講座を収録した講義を何回も視聴することができ、復習に大活躍！また、音声ダウンロードも利用できるので、iPodなどのポータブルデジタルオーディオプレーヤーにダウンロードすれば、電車などの移動中、休憩時間を利用して学習することができます。

●対象コース

★全てのバック、単科（全国公開模試を除く）

※視聴環境をご確認ください
お申込前に必ず、WセミナーホームページのWeb通信講座VODログインページ（<http://www.w-seminar.co.jp/vod/>）にアップされている「動作環境の確認」で視聴可能かを、ご利用になるパソコンでご確認ください。

📺 重複受講制度

対象講座 📺 📺

1回出席した講義を再度受講したい場合、同一コースであればビデオ（DVD）フォローを利用して再度受講できます。（要予約・1講義500円）となります。）

※ビデオ（DVD）講座の方が教室講座に重複受講することはできません。

※講義、答練の解説講義部分に限りご利用が可能です。答練の問題・演習部分・全国公開模試は対象外となります。

※重複用のブース数は各校で限りがありますので、予めご了承ください。

📺 随時入学可 無料 (追っかけフォロー)

対象講座 📺 📺

教室講座の開講日が過ぎてしまったコースについては、既に実施された講義をビデオ（DVD）講座にて無料で受講できます。教室講座の日程に追いついたところで教室に出席することができます。また、ビデオ（DVD）講座は視聴開始日以降ならいつでも受講を開始することができます。

📺 ビデオ（DVD）フォロー

対象講座 📺

欠席した講義をTACのビデオルームで視聴することができます。（要予約・1講義500円）

📺 質問カード&質問メール 無料

対象講座 📺 📺 📺 📺

学習に疑問点はつきものです。疑問点は質問カードまたは質問メールにて質問することができます。ご質問いただいた内容には、講師、スタッフが分かりやすく丁寧にお答えいたします。

📺 自習室 無料

対象講座 📺 📺 📺 📺

講義の行なわれていない各校舎の教室を自習室として開放しています。全国のTACの教室を自由に利用できます。予約も不要です。

●対象コース

★トータルバック★最短講義バック★的中バック

※教室の使用状況によっては自習室として開放できない場合がございます。予めご了承ください。

※パソコン、携帯電話から自習室の検索が可能です。※単科・全国公開模試のみ受講の方はご利用いただけません。予めご了承ください。

📺 振替受講制度 無料

対象講座 📺

同一コースであれば、同一受講形態内で他校舎に振替えて自由に出席することができます。例えば、平日は会社や大学の近くの校舎で、休日は自宅に近い校舎で自由に振替えることができます。

※振替用のブース数は各校で限りがありますので、予めご了承ください。

📺 教室フリーパス 無料

対象講座 📺 📺

以下の対象コースのDVD通信・Web通信講座をご受講の方は、ご自身の受講期間内であれば開講している同一コースの教室講義に自由に出席することができます。

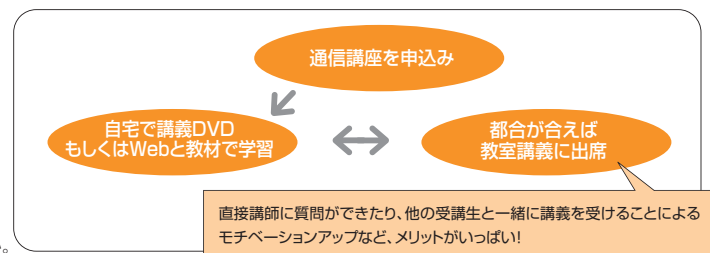
●対象コース

★トータルバック

受講期間内であれば、同一コース内の全ての教室講義に出席することができます。

※教室フリーパスは教室講義に出席できる特典です。通学ビデオ（DVD）講座での視聴は出来ませんので、ご注意ください。

(注) ★TAC提携校での各種サービス等はTAC直営校と異なる場合がございます。詳しくは各TAC提携校へお問い合わせください。★上記フォロー制度は会員登録記載の有効期限内でのご利用が可能です。



●● 受講料一覧

通常受講料

コース名	コースNo.	受講形態	クラスNo.	通常受講料
トータルパック	113-101	教室講座・ビデオ(DVD)講座	下記参照	¥75,000
	113-301	Web通信講座	W9	¥75,000
	113-201	DVD通信講座	96	¥80,000
最短講義パック	113-104	教室講座・ビデオ(DVD)講座	下記参照	¥60,000
	113-304	Web通信講座	W9	¥60,000
	113-204	DVD通信講座	96	¥66,000
的中パック	113-105	教室講座・ビデオ(DVD)講座	下記参照	¥30,000
	113-305	Web通信講座	W9	¥30,000
	113-205	DVD通信講座	96	¥33,000
的中答練	113-106	教室講座・ビデオ(DVD)講座	下記参照	¥20,000
	113-306	Web通信講座	W9	¥20,000
	113-206	DVD通信講座	96	¥22,000
ファイナルチェック	113-107	教室講座・ビデオ(DVD)講座	下記参照	¥9,000
	113-307	Web通信講座	W9	¥9,000
	113-207	DVD通信講座	96	¥10,000
全国公開模試 (注)	113-001	会場受験	下記参照	¥5,000
	113-051	自宅受験	91	¥5,000

弁理士講座受講生割引受講料

(注) 会場受験は渋谷校のみでの実施となります。それ以外は自宅受験(通信)での受験となります。

コース名	コースNo.	受講形態	クラスNo.	割引受講料
トータルパック	113-102	教室講座・ビデオ(DVD)講座	下記参照	¥65,000
	113-302	Web通信講座	W9	¥65,000
	113-202	DVD通信講座	96	¥70,000

学習経験者(転校)割引受講料

コース名	コースNo.	受講形態	クラスNo.	割引受講料
トータルパック	113-103	教室講座・ビデオ(DVD)講座	下記参照	¥45,000
	113-303	Web通信講座	W9	¥45,000
	113-203	DVD通信講座	96	¥49,000

クラスNo.

教室講座・公開模試(会場受験)

渋谷校:L1

ビデオ(DVD)講座

札幌校:KO 仙台校:JO 水道橋校:2O 新宿校:GO 高田馬場校:XO 池袋校:3O 渋谷校:LO 八重洲校:FO 立川校:MO 中大駅前校:YO 町田校:AO 横浜校:4O 大宮校:CO 津田沼校:VO 名古屋校:5O 京都校:6O 梅田校:7O なんば校:BO 神戸校:EO 広島校:NO 福岡校:8O

注意
事項

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金¥10,000(5%税込)が必要となります。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。
※受講料には教材費及び消費税5%が含まれています。
※的中答練・ファイナルチェック・全国公開模試は単科でお申込みいただけます。
※ファイナルチェック・全国公開模試のみをお申込みの場合、入会金¥10,000(5%税込)はいただいておりません。ファイナルチェック・全国公開模試受講後、他のコースをお申込みいただく際に、受講料の他に入会金¥10,000(5%税込)が必要となる場合があります。あらかじめご了承ください。

弁理士講座受講生割引をご利用の方は下記注意事項もご確認ください。

2011年または2012年合格目標の弁理士講座をご受講の方、過去にTAC/Wセミナー弁理士講座をご受講されたことのある方が対象となります(単科・模試のみも可)。
●お申込みの際に必要なもの
TAC/Wセミナーの弁理士講座の会員証
※郵送でお申込みの際には、必ず上記会員証のコピーを添付してください。また、銀行振込の控え(コピーでも可)、郵便振替の控え(コピーでも可)またはインターネットバンキングでのお振込みの場合には振込終了画面等のTACへの送金を確認できる画面をプリントアウトしたもの添付してください。
●弁理士講座受講生割引はTAC各校の受付窓口または郵送でのみお申込みいただけます。

学習経験者(転校)割引ご利用の方は下記注意事項もご確認ください。

過去にTAC/Wセミナー弁理士講座を受講されたことのない方で、TAC/Wセミナー弁理士講座以外の受験機関において、弁理士論文選択科目対策の「著作権法対策講座」を受講された事のある方(単科・答練・模試のみの受講も可)が対象となります。
●お申込みの際に必要なもの
他の受験機関(TAC/Wセミナー以外)で受講したことを証明するもの(受講証・受講証明書など)
※郵送でお申込みの際には、必ず上記会員証のコピーを添付してください。また、銀行振込の控え(コピーでも可)、郵便振替の控え(コピーでも可)またはインターネットバンキングでのお振込みの場合には振込終了画面等のTACへの送金を確認できる画面をプリントアウトしたもの添付してください。
●学習経験者(転校)割引はTAC各校の受付窓口または郵送でのみお申込みいただけます。

無料公開セミナーのご案内

予約不要

参加無料

論文式試験選択科目 著作権法対策セミナー

短答式試験でも出題される著作権法。論文式試験選択科目を受験される方にはオススメの科目です。皆様からのご要望にお応えして、TAC/Wセミナーでも著作権法受験対策コースを新規開講いたします。本セミナーでは、コース内容について、担当講師がわかりやすくお話しいたします。

参加者特典!!

入会金



¥10,000

免除券

2010年度
弁理士試験模範解答集
＜短答式・論文式（必須科目）＞



★実施日程・実施会場

2010年	12/12(日) 14:00～15:30	渋谷校
	12/19(日) 14:00～15:30	渋谷校
2011年	1 / 16(日) 14:00～15:30	渋谷校

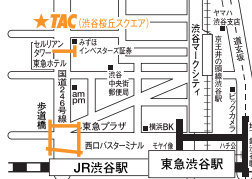
※セミナー終了後、個別にご相談も承っております。お気軽にご相談ください。

※動画チャンネルでも12/20(月)以降に上記セミナーをご覧いただけます。

渋谷校

〒150-0031 渋谷区桜丘町31-15
渋谷桜丘スクエア

☎ 03(3462)0901(代)



JR・東急・地下鉄渋谷駅西口より徒歩7分
京王井の頭線渋谷駅西口より徒歩4分

申込方法

お手続きは簡単です!

詳細については、TAC各校までお問い合わせください。

☆0から始まる会員番号をお持ちでない方は、入会金¥10,000(5%税込)が別途必要です(入会金不要講座・免除講座を除く)。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。

TAC受付窓口で お申込み の場合



- 申込書に受講料を添えて
- ①現金でのお申込み
 - ②デビットカードでのお申込み
(30,000円以上の申込み)



《デビットカードのご利用にあたって》
※30,000円以上の講座申込に限りです。
※TAC教育ローンの頭金のお支払いには利用できません。
※お客様ごとに利用できる支払い限度額が設定されていますので、予め取引先金融機関にお問合わせください。
※一部金融機関のカードでは利用できない場合や、利用可能時間・曜日は金融機関により異なりますので、予め取引先金融機関にお問合わせください。

インターネット でお申込みの 場合



e受付 TAC ECサイト
<http://ec.tac-school.co.jp/>

申込可能な商品は限られますのでTAC e受付サイトにてご確認ください。

※支払は、クレジットカード・ジャパンネット銀行リンク決済・コンビニ支払(セブンイレブン・ローソン・ファミリーマート・セイコーマート)・銀行振込となります。
※コンビニ決済は30万円までのお取扱いとなります。
※銀行振込・コンビニ支払でのご利用は申込締切日の8日前までとなります。



郵送でお申込みの場合

銀行振込



銀行振込
(口座名) TAC株
(振込先) みずほ銀行 / 神田支店
普通預金 2142263
※振込は、ATMをご利用ください。
早くて手数料がお得です。

郵便振替



郵便振替
(口座番号) 00140-4-74476
(名 称) TAC株式会社
※郵便局備えつけの「払込取扱票」をご利用いただくか、ATMをご利用ください。

①申込書 ②受講料の振込控え(コピーでも可・インターネットバンキングでのお振込みの場合には振込終了画面等のTACへの送金を確認できる画面をプリントアウトして添付ください。お客様の口座番号・口座残高は黒塗り等いただいても結構です。)2点を同封しTAC申込手続係へ送付

TAC申込手続係 〒101-8383 東京都千代田区三崎町3-2-18

★お振込控えがない場合、ご本人様の確認ができないため、お申込み手続き、教材の発送等が遅れます。
※振込手数料はお客様ご負担となります。※TACは原則として前払いとなります(一部代引き除く)

大学生協等代理店で お申込み の場合



生協等の専用申込書に記入し、割引受講料をお支払いください。
※生協等で「申込者控」を必ず受取ってください。

TAC受付で申込書に記入し、「申込者控」(生協等で受取)とともに提出
通信の方は店舗から受取った返信用封筒に「申込者控」「TAC 郵送専用申込書」を入れてお送りください。
※取扱店舗により申込方法が異なる場合がございます。また、一部お申込みできない講座・コースもございます。

会員証の発行 TAC受付窓口で手渡し

学習スタート

会員証の発行 ご自宅へ郵送(通学講座は窓口渡し)

学習スタート

会員証の発行 ご自宅へ郵送

学習スタート

会員証の発行 TAC受付窓口で手渡し(通信講座はご自宅へ郵送)

学習スタート

注意事項

- 当案内書の有効期限は、2011年7月までになります(コースにより申込期限が異なりますので、ご確認の上お申込みください)。
- 未成年者(20歳未満)が受講申込み(受講料5万円以上)をする場合には、別途親権者の自筆による「同意書」の提出が必要です。
- TAC提携校では、一部お取扱いできない場合もございますので、予めご了承ください。

お問い合わせ・資料のご請求は



0120・509・117

携帯・PHS OK

※携帯・自動車電話、PHSからもご利用になれます。

受付時間

(月～金) 9:30～19:00 (土・日・祝) 9:30～18:00

TAC株式会社 〒101-8383 東京都千代田区三崎町3-2-18 弁理士講座HP <http://www.w-seminar.co.jp/benrishi/>

資格の学校

TAC

WASEDA セミナー